

馬毛島で米艦載機 FCLP(空母艦載機着陸訓練)も、陸海空自衛隊の訓練も??

種子島から西に 10kmのところにある「馬毛島」。以前から米艦載機の離着陸訓練用として国が購入するかどうかと話に出ておりましたが、政府が 160 億円で購入し全島を米軍の FCLPをする自衛隊基地にするとのこと。

「馬毛島への米軍施設に反対する市民・団体連絡会」が 30 万筆以上の反対署名を持って上京し現地の報告をしました。(2020 年 11/16・17)

山内事務局長たちから馬毛島の現状の説明がありました。無人島を以前私企業が購入したときは 4 億円だったがその島の評価額が 45 億円、政府が購入した金額は 160 億円とのこと(何でこんなに高いのか?)。

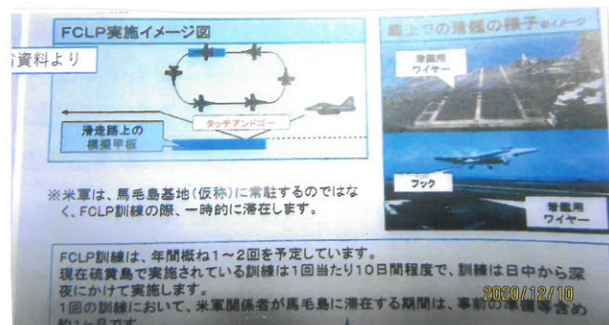


2007 年のときは“米軍の FCLPのための基地”といってきたので周辺住民の大半の方が反対でした。

ところが今度 2020 年 8/7 防衛副大臣が島自体の基地化の話では「自衛隊基地」とのこと。“島嶼防衛”“災害対策”“集積基地”とのことの中でその中に米軍の FCLPがはいつて来るといった言い方になったと。自衛隊基地となると自衛隊関係者も多く住民のなかにいるのでなかなか以前のようにストレートに反対といえないような雰囲気・・・

でも実質的に「米軍の訓練を前提にした自衛隊の基地化なので、西之表市の八板市長は 2020 年 10/7「最大の問題は米軍に制限がかけられないこと。メリットより軍事施設設置で失うものが大きい」「一度踏み出せば引き返せない。基地経済に依存しない街づくりこそ持続可能な社会への希望がある」と明確に反対を表明。

米艦載機の訓練は厚木基地でやっていた戦闘機によるタッチアンドゴー、時速 450km で飛び回り、離着陸でエンジン全開爆音を撒き散らすことになる。1 回の訓練は約 10 日間、1 日 200~300 回なので 2000~3000 回のタッチアンドゴーの訓練です。しかも硫黄島のように深夜 3 時まで訓練することもあると。



政府の説明では馬毛島を選んだ理由は①離島で無人島②米軍が硫黄島では遠すぎる(1400km)もっと近くでと要求しているからと。

しかし岩国から馬毛島のほうが近いといっても周辺には多くの人々が生活しているのです。米軍の訓練空域は半径 45kmなので種子島も屋久島も大隅半島もその内側に入ってしまいます。

更に今回の自衛隊基地化には多くの問題があると指摘しました。馬毛島で「訓練」するだけでなく「飛行場」も「弾薬庫」も「港湾」も一体的に作ることであり、港湾は 9000t ~ 13000tの船が入れるもので「米海軍の不沈空母として使われるだろう」と米国のマ

スコミが報道しているのです。

又、自衛隊の陸自・海自・空自すべてがひとつにまとまった基地は日本で初めてのこと。陸自のオスプレイも水陸機動団も、海自のP3Cも、空自のF35Bの訓練と何でもあり。

FCLPのときは米兵300人が馬毛島に宿泊する。自衛隊員は種子島に宿泊所をつくるとのこと。このような基地になるので日米地位協定でどのように対応されるのか？自衛隊基地を米軍に貸す“2-4-b”なのか？その点を問うても防衛省はあいまいなままとのこと。

辺野古の予算を流用して160億円を使った理由で政府は“馬毛島”の基地は米軍の基地なので160億円使ったと。それでも地元の人々には自衛隊基地だといって地位協定の点をあいまいにしているとのこと。

今海のボーリング調査に入ろうとしているがこれから鹿児島知事の許認可の判断が重要になってくる。調査工事が始まったらアオリイカ・貝・かにの最良の漁場が壊されてしまうと漁師は心配しています。馬毛島周辺で実際に漁をしている人は反対です。漁業組合長はもと自衛隊員で賛成という厳しい状況だそうです。(残念ながら後日11/27鹿児島県知事は調査を許可しました)

「米軍の恒常的FCLPが前提での自衛隊基地化です。“問題の本質は米軍基地だ”これに反対という住民の声を結集させて運動を展開する」と運動の方向性を語りました。

厚木基地での米艦載機夜間離着陸訓練(NLP)の問題は40年前に下総基地が候補地となり6市2町の住民・自治会・首長・議会そして千葉県も一体となって反対し何とか押しとどめています。でも今でも「根本的に将来にわたって絶対にNLPをしないと確約してくれてない」のが防衛省の立場なのです。住民と行政と議会一体での反対の声が無くなったら危ない、危ない・・・米艦の母港は横須賀ですから。

馬毛島の住民の方々の闘いは「米軍基地化・陸海空すべての自衛隊の訓練、沖縄を含めた南西諸島の防衛戦略、米軍対中国戦略、敵基地攻撃論の渦」の中での闘いです。

八板市長が言うように「将来にわたって島の子ども達が安心して生活できる島を築くことが今生きる者の責任」です。

馬毛島に平和を！下総の空にもNLPはいりません！

「民主主義と自治そして平和主義」ふじしろ政夫 047-445-9144

*活動報告HPに掲載「いい鎌ヶ谷ふじしろ政夫」でアクセスできます。



わずか10kmのところには人口約1万5千人の西之表市・種子島がある
種子島には約3万人が住む

行政区である西之表市は一貫して反対してきたが、政府は強引に進めようとしている
背景にアメリカの要請に基づく日米2+2での合意がある

